

越後：平ヶ岳

- ◆日程 2021年7月10日(土)
- ◆メンバー L: OT、SD
- ◆天候 曇り時々雨

平ヶ岳は南会津、尾瀬の北西に位置する僻地の山だ。深田久弥は平ヶ岳を百名山に選ぶ「資格」として、一に利根川源流地域の最高峰であること。二に長く平らで個性的な頂上をもつこと。三に山深く人跡稀な地勢であることを挙げている。当時久弥は登りに3日、下りに2日、合計5日もかけて登っているのだ。今回はコースタイム12時間のコースを前泊日帰りで登って来た。



金曜夜に横浜を車で出発。関越小出 IC を降り、枝折峠、銀山平を通り奥只見湖に沿った樹海ラインをひたすら走るとようやく平ヶ岳登山口側の鷹ノ巣駐車場に到着した。ここまで約5時間、まあ一遠い。小雨が降っているが雨が上がるのを期待して車中で仮眠を取る。

4時半起床で外を見ると変わらず雨が降っている。今後の天候が気になるが上下レインウェアを着て出発する。前坂辺りで雨も止んできたのでレインウェアを脱ぎ急登を登る。ヤセ尾根を過ぎるとフィックスロープのあるザレタ岩場を通過して下台倉山に到着。蒸し暑さMaxで大汗をかいていた。



台倉山から先は緩やかな上りだが雨に濡れて滑り易くなっている木道が続く、OTさんも私も仲良く1度ずつスツ転んだ。池ノ岳に着くと広い湿原になっていてハクサンシャクナゲやチングルマ、コバイケソウなどの高山植物が多く咲いていた。湿原を30分程進むと平ヶ岳に到着。天気が良ければ巻機山、燧ヶ岳などの眺望が良いらしいのだが、ガスっていてほとんど見えない。天候の良いときに山頂にテン泊したらどんな気持ちが良いだろうか(残念ながらテン泊は禁止されている)。

下りも長いので早々に戻り始める。結局10時間半くらいのコースタイムで駐車場に到着することができた。帰りは檜枝岐方面に車を進め、途中温泉に入ってサッパリし、上河内SAで特大唐揚げ定食を食べた。東北道で土砂降りの雷雨に見舞われたが何とか土曜日中に帰宅することができた。長い一日であったが思い出に残る良い山行だった。(記: SD)

CT: 鷹ノ巣 5:40 - 下台倉山 7:40 - 池ノ岳 10:40 - 平ヶ岳 11:30 - 下台倉山
14:40 - 鷹ノ巣 16:00